**申請様式２）CCDSサーティフィケーション\_検査結果チェックシート**

**レベル１（★）申請用**

|  |
| --- |
| **事務局記入欄** |
| **申請書番号** | **SL1** |  |  |  |  |  |  |  |  | **－** |  |  |
| **サーティフィケーション番号** | **SL1-GR2021-** |  |  |  |  |

**■申請対象製品の情報**

|  |  |
| --- | --- |
| 製品名称 |  |
| 型式番号 |  |
| 製品バージョン |  |

**■検査資格者の情報**

|  |
| --- |
| □　申請者による自主検証 |
| 資格取得日 |  |
| CCDS資格認定番号 |  |
| 企業名 |  |
| 法人番号 |  |
| 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| 連絡先 | 住所 |  |
| 電話番号 |  |
| Email |  |

**■別紙）申請対象製品の検査結果チェックシート**

|  |  |
| --- | --- |
|  | ガイドラインに基づき、合格基準をクリアした事が確認できた項目にチェックを入れる |
| チェック欄 | 分類 | No. | 認証要件 |
|[ ]  1.IoT機器の機能要件 | 1-1 | 未使用ポートを外部より使用されないこと |
|[ ]   | 1-2 | システム運用上、必要なTCP/UDPセッションにおいて、適切な認証（機器毎にユニークなIDとパスワード）や通信アクセス制御が行われていること |
|[ ]   | 1-3 | 認証情報の設定変更が可能なこと（ハードコーディングされていないこと） |
|[ ]   | 1-4 | 1)利用者の設定した情報、および機器が利用中に取得した情報は、容易に消去できる機能を有すること |
|[ ]   |  | 2)情報消去後も、更新されたシステムソフトウェアは維持されること |
|[ ]   | 1-5 | 1)ソフトウェア更新が可能なこと |
|  |  |  | 2)ソフトウェア更新された状態が電源OFF後も維持できること |
|[ ]  2.IoT機器特有のインタフェースにおける基準 | 2-1 | Wi-Fi Alliance ®（ワイファイ アライアンス）推奨の最新の認証方式が装備されていること |
|[ ]   | 2-2 | 1)Bluetooth SIG推奨の最新のペアリング方式が装備されていること |
|  |  |  | 2)Bluetoothにおける不要なプロファイルを認識しないこと |
|  |  |  | 3)BluetoothのBlueborneの脆弱性がないこと |
|[ ]   | 2-3 | システム運用上、不要なクラスを認識できないこと |
|[ ]  3.管理者画面における具体的な対策基準 | 3-1 | Web入力経由によるSQLインジェクションの不具合がないこと |
|[ ]   | 3-2 | Web入力経由によるクロスサイトサイトリクエストフォージェリの不具合がないこと |
|[ ]   | 3-3 | Web入力経由によるパストラバーサルの不具合がないこと |
|[ ]  4.IoT機器の運用における要件 | 4-1 | 1)製品の脆弱性に関する連絡窓口があり、公開していること |
|  |  |  | 2)製品のセキュリティアップデートサポートサイトがあること |

|  |
| --- |
| **承　認** |
|  |

指定検査資格者による確認のもと、製品が対応する共通要件の項目については、全項目が合格基準に達していることを検査いたしました。

**指定検査資格者氏名（自著）**